

エアチューブテント／組み立て方法

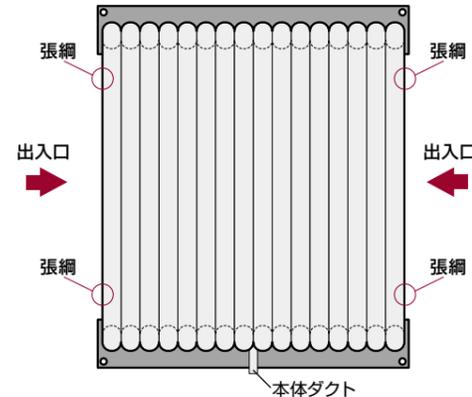
1 設置場所をえらびます。

10m四方の平らな場所を選び、小石や鋭利な突起物など幕体に損傷をあたえる物を取り除きます。

2 風向を確認します。

エアチューブテントの出入口の向きを決めるため、風向きを確認します。

3 本体を配置し、広げます。



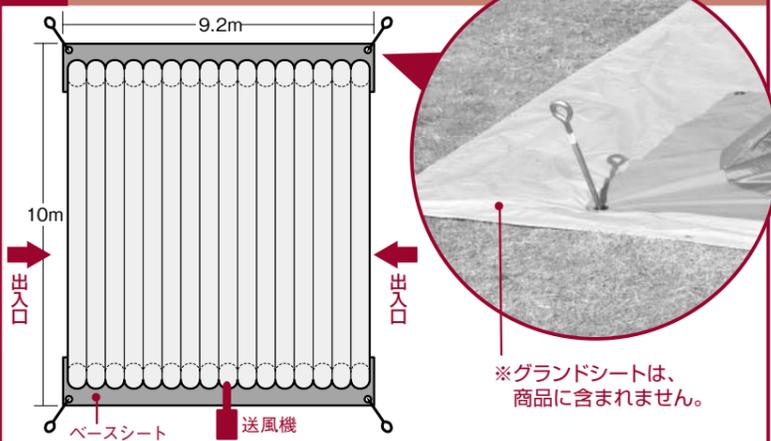
エアチューブテントの側面に風を受けないように写真の位置に本体を配置します。梱包布を開け、巻かれている本体を広げます。本体の4箇所にあらかじめ張網を取り付けます。杭の打ち込めない場所に設置する場合は、付属のウォーターサンドウェイト全数に土や砂、石、水などを入れ用意しておきます。
※グランドシートは、商品に含まれません。説明の際、見やすくするために使用しています。

4 本体ダクトと送風機を接続します。



本体を十分に広げ終わったら、本体ダクトと送風機を接続します。

5 送風を開始する前に仮止めします。



送風時に強風を受けて本体が変型したり、移動するのを防ぐため、送風を開始する前に、チューブ両端ベースシートの四隅を付属の杭で仮止めします。杭を打ち込めない場所に設置する場合は、あらかじめ用意したウォーターサンドウェイトをベースシート四隅のテーブループにベルトを通してバックルで固定します。

6 送風開始前に確認してください。

エア抜き用ファスナーとフラップが閉じている事と、床部テンションベルトが接続されている事を確認します。また、送風機の吸気口が開いている事を確認してください。

7 風速を確認します。

付属の風速計で風速を確認します。風速が安全基準内であることを確認のうえ送風を開始してください。

8 送風開始後、約20分で立ち上がります。



a 前・後面幕を取り付けない場合 前・後面幕を取り付けない場合は、送風を開始して約20分で立ち上がります。



b 前・後面幕を取り付ける場合 送風を開始して約15分位経過すると各チューブにエアが行き渡り、前・後面の頂上部が地面から浮き上がります。その時に前面幕2枚、後面幕2枚の上端に付いているバックル(♂)を前・後面チューブの内側にあるバックル(♀)と接続します。



c 連棟する場合 エアチューブテントを並べて広げます。付属の連棟用シートのバックル(♂)をエアチューブテントに付いているバックル(♀)とそれぞれ接続します。接続完了後、エアチューブテントへ送風を開始します。



d エアの調節 チューブ内側の中央部にあるエア抜き用ファスナーの一部を開け、エアを放出させれば頂上部の高さの調節が出来ます。

9 裾部に杭を打ち込み固定します。

完全に立ち上がりましたら、本体に取り付けた張網を杭で地面に固定し、残りの杭で裾部の内側と外側を固定します。杭が打てない場所ではウォーターサンドウェイトを使用して固定します。

10 固定完了後

エアチューブの固定が完了しましたら、チューブの拡がり防止用の床部テンションベルトを取り外すことも可能です。エアチューブテント使用中は連続送風が必要ですので送風機を止めないでください。